

# 今、なぜ特別活動 (TOKKATSU)が大切なのか

学習指導要領が改訂され、特別活動は他教科に先駆けて、今年度より実施されています。

この特別活動の改訂の主なポイントと指導上の留意点について、杉田 洋先生に解説していただきました。

話題となったエジプトでの「日本式」学校の開校、さらに海外に広がる「TOKKATSU」のお話も伺いました。



エジプト・日本学校 (Egypt-Japan School)  
小学校1年生の学級会 (EJSニューファウム校)



## 杉田 洋 (すぎた ひろし)

國學院大學教授。浦和市小学校、浦和市教育委員会・さいたま市教育委員会勤務等を経て、国立教育政策研究所教育課程調査官、文部科学省初等中等教育局教科調査官、同視学官を務めた。平成27年4月より現職。モンゴル教育大学客員教授。日本特別活動学会理事。NHK「でーきた」番組委員。エジプト・日本教育パートナーシップに基づき、「TOKKATSU」の導入に取り組む。

### 特別活動の改訂の ポイントは？

今回の学習指導要領改訂では、各教科等の学びを通して育成することを目指す資質・能力を三つの柱により明確にしました。特別活動の目標についても、「人間関係形成」、「社会参画」、「自己実現」という三つの視点を手掛かりとしながら、資質・能力の三つの柱に沿って目標を整理しました。

また、特別活動における「集団や社会の形成者としての見方・考え方は」、特別活動と各教科等の往還を重視したものと なっています。

学校という小さな社会の中で、経験しながら生き方を学ぶ特別活動への期待が大きいと言えるでしょう。

学校には「学力の問題」、「生徒指導」、「学級経営」、大きく分けてこの三つの課題があると言われていますが、こういう諸課題に込める意味でも特別活動に期待が寄せられています。学力を向上させるための土壌も、生徒指導の問題を解決する土壌も学級にあるので、学級づくりに貢献できる特別活動が注目されているのです。

そもそも学級経営という側面が強いのも日本ならではです。欧米では先生が教室にいて、そこを必要に応じて子

どもたちが回るといいうやり方も少なくありません。

日本の場合は、いつも同じ子どもが同じ教室にいて、朝の会ではじまって帰りの会で終わる。日直や給食当番、掃除当番を置く。勉強だけでなく生活を共にするからこそ、学級経営が大事になってきます。そうした意味からも学級経営に寄与する特別活動が大きな役割を果たしている。そこに期待している先生方が多いのだと思います。

ところで、特別活動における一番の課題は、教師力の連鎖が働きにくいことです。教科書がない特別活動は、教師から教師へと伝承的に指導法が伝えられてきました。

それを補う指導資料のリーフレットと、2014年(平成26年)発行の『小学校 特別活動指導資料』が広く活用されるようになりました。

今般の学習指導要領の改訂に即して、改訂版を作成し、リーフレットについてはすでに全国配布をし、今後必要な方は市販でも手に入れることができるようになりました。

前回、多くの先生方に手に取っていただいたことから、特別活動の指導法が広まり、定着したと考えています。改訂版においても活用していただき、より充実を図っていききたいですね。

2018年度(平成30年度) **新教材**

# 楽しい 学校生活 1～6年

特別活動のテキスト と キャリア教育のポートフォリオ

## 2つの要素を兼ね備えた**児童用教材**

小学校の特別活動の重要度が急上昇中。全教育活動の基盤となる特別活動のテキストと、キャリア教育に生かせる子どもの生活の記録が一体となった本教材が、子どもたちの「楽しい学校生活」を実現します！

こんな教材がほしかった!と **大好評**



### 児童書

●1～6学年:A4判オールカラー/64ページ ●各学年 500円+税

### 教師用指導書

●1～6学年:A4判2色/32ページ ●各学年 1,500円+税

◎年間指導計画や学習指導案、提示用資料、ワークシートなどを収録したCD-ROMを付録  
※本書は、文溪堂特約代理店へご用命ください

## みんなで、よりよい 学級・学校生活をつくる **特別活動**

特別活動指導資料  
小学校 新学習指導要領準拠 **小学校編**



2014年に発行された  
「楽しく豊かな学級・  
学校生活をつくる  
特別活動」を  
全面リニューアル!

●A4判オールカラー  
●128ページ  
●本体1,200円+税

## 子どもの自主的な活動と キャリア教育を支える

特別活動の最も重要な特質の一つに、子どもたちの自主的な活動とということがあります。やりながら体得して覚えていく、あるいは活用していくことが大切であり、子どもたちが自主的に使える資料や教材が有効であると考え、児童用教材『楽しい学校生活』をつくりました。自主的な話し合いの方法などは、子どもたちがこれを見て学ぶことができますし、教師主導で行われる学級活動の(2)や(3)といった授業についても、活用しやすい資料になっていますので、かなり直接的に授業の充実に結びつくものと思っています。

また、特別活動はキャリア教育の要の役割を期待されています。キャリア教育は、いわば資質・能力論の中心に置かれている考え方です。社会で生きて働く資質・能力を育てる、良き職業人、良き文化人を育てるという点からも、学びの自覚が重要であり、学びの自覚化を促すためにポートフォリオ的な教材が必要になってきます。

この新学習指導要領に示された「キャリア形成」のための見取りや自己評価につながる記録としても『楽しい学校生活』は有効です。特別活動のテキストと、キャリア教育に生かせる子どもの記録、全活動を二冊で見取ることが可能な教材かつノートとなっていますので、活用していただきたいですね。

## 日本の「特別活動」から 世界の「TOKKATSU」へ

海外から災害時の日本人の対応が高く評価されています。避難時ではパニックにならない、行政が介入しなくても話し合いで秩序ある解決を図るなど、少なからず日本の国民性だけでなく、特別活動で培ってきたものが生きて働いたというように見えます。人づくりを寄与している特別活動に海外が関心を示していると言えらると思います。

2018年10月にエジプトで日本式学校が開校し、多くのメディアに取り上げられました。日本と名の付く海外の公立学校がつくられるのは、我が国にとつてはじめてのケースです。

そういう点で画期的であると同時に、課題も山積しています。日本式学校を二百校にまで増やし、一万七千校の一般校にも広げる予定だからです。

私は、海外が日本の教育に助けを求めるような時代が来たのではないかと感じています。その象徴が特別活動(TOKKATSU)です。特別活動が、これでエジプトに広まりますが、エジプトでの定着度、あるいは成果をどれだけ上げたかということが、今後の日本式教育の行く道を占うような役割をもっているように思います。

特別活動がエジプトの国づくりに寄与することが、数年の取り組みで実証されれば、より多くの国々に普及していく可能性をも秘めています。